

大阪労連 雇用とくらしを守ろう ニュース

NO. 1

大阪市北区錦町2-2 国会会館1F 全大阪労働組合総連合

TEL 06-6353-6421 2009・6・24

「大阪労連春闘共闘ニュース」はNO37を持って、今年を終了とします。ニュースでは、この間、賃上げだけでなく、地域での雇用とくらしをまもる運動も紹介してきました。

大阪労連は、「春闘共闘ニュース」発行を終了した後も、仲間の運動を紹介していくため、「雇用とくらしを守ろうニュース」を発行することにしました。

建交労・地下鉄清掃分会の記者会見 4紙で報道

6月23日夜、建交労地下鉄分会の労働者が行った、「働いても生活保護以下」の記者会見には、NHK以外に新聞社7社が参加。24日、読売、朝日、毎日、産経の朝刊に掲載されました。産経新聞の報道を転載します。

テナンス会社の契約社員として地下鉄1駅の清掃を担当し、1日6・5時間働いている。交通費などの必要経費を差し引いた手取り収入は月額約9万1千円。今月15日、生活保護の受給を市に申請したところ、男性の生活保護基準額との差額約2万4千円が支給されることになったという。

男性が勤める会社は昨年11月、清掃業務の入札で予定価格約2億4千万円に対し約1億1600万円で落札し、落札率は48・1%と低かった。労組は「業者間のダンピング（不当廉売）競争が低賃金の原因になっている」として入札制度の改善を市に求めている。

6・7寝屋川かけこみ相談会

北河内では多くの製造業が一時帰休に入っていることが特徴です。ものづくりの先行きが見えてきません。

枚方を含む各地で「反貧困・生活110番」をとりくんできましたが、寝屋川でも「市民かけこみ相談会」を行い、寝屋川労連、生権会、弁護士などのべ60人が参加しました。26件の労働相談や生活相談が相次ぎました。

49歳の男性は勤めていた会社が合併で人員整理、ハローワークでは、求人一人に応募者60～70人という状況。36歳の男性は派遣会社を自己都合扱いで解雇され親元に居候中。この男性は以前トヨタで約2年間派遣で働いていたそうです。20歳代の男性は建設会社を解雇されホームレス状態など、青年が希望を持って働けるためにも労働組合運動の強化が必要だと感じました。

(北河内地区協 稲垣)

大阪市営地下鉄駅の清掃業務を受注している会社の男性社員(53)が、同市から

大阪市 労組「官製ワーキングプア」

地下鉄清掃員に生活保護

が生活保護の基準額を下回っていたという。男性を支援する労働組合は同日会見し、「市の未端で働く労働者に生活保護を支給するといういびつな現状があり、官製ワーキングプアだ」と主張した。労組によると、男性は今月2月から市内のビルメン